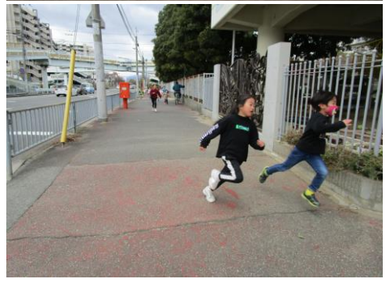
幼児だより　2月号

2022年2月1日　発行

「おにはそと！ふくはうち！」冬から春に季節が移り変わる節目を、”節分”と言います。子どもたちは、鬼の話をしたり、お面を作ったり、この時期ならではの行事を楽しみにしています。先月行ったおもちつきは、大盛り上がりでした。「もちごめ、かんだら、くちのなかで、もちになった～」「（つくこと）むずしかった～」「きなこもちだいすき」とても楽しい時間を過ごしました。子どもたちは、口々に「もうすぐ1ねんせいやねん」「もうすぐいるかになる」と、話しています。ひとつ大きくなることを実感して、とても楽しみにしていてかわいいです。小学校の生活に向けて、5歳児はお昼寝がなくなり、午後の活動を、色々な先生と関わり嬉しそうです。文字や数字、英語まで（笑）保育士が得意分野を生かして、子どもたちの学びの場を提供しています。子どもたちはそういう経験を踏んで、自分の好きなものを見つけてくれたらいいな～と思っています。

正月あそび(あやとり・こま作り・凧あげ・羽つき・かるた・おてだまなど)



楽しかったしね！おいしかったね！おもちつき

寒くてもお外が大好き♡　4,5歳は初めての潮江公園に行きました。

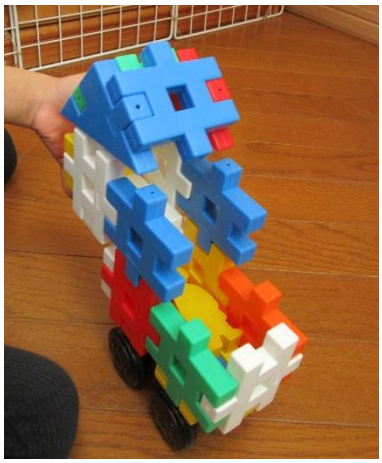
大盛りあがりのラQ

1年間ずっと保育室内にあったラQ。始めは平面しか作れませんでしたが、今では立体をどんどん作っています。たくさんあるラQのケースが空っぽになりました。

細かい所もよく見てるね

Ｒちゃんがブロックで作ったベビーカーを見せてくれました。
持ち手を三角のブロックで工夫したのかな…と思っていたのですが、Ｒちゃんは「今はお日さまあんまり出てないもんね～」とベビーカーに乗せた人形に話しかけています。
「もしかして、フードのところを表現したかった…？」
試しに「Ｒちゃん、夕方になってお日さままぶしくなってきたよ」と伝えると、三角の部分を前に折り曲げるＲちゃん。やっぱり、三角の部分は取っ手ではなくフードだったようです。

実物の写真と見比べてみると、よく分かりました。



フード以外に、座るところと足を置くところがそれぞれ段になっているところ、落ちないように横にも支える部品があるところなども再現しようとしていることが分かりました。

Ｒちゃんが次に作ったのはハンバーガー。ビッグマックを注文するとすぐに作ってくれました。

バンズ、お肉、レタス、トマト等見立てて作っています。ビッグマックは２段になっていることをちゃんと知っているんですね。ハンバーグは丁寧に手ごねしておいしそう！

イメージしたものを作ろうとするとき、子どもではその材料のほとんどはおもちゃですが、大人になると様々なものを組み合わせていきます。何を材料にしているかという違いはありますが、「こんなものを作りたい」「こういうものを作るには何をどんな風に組み合わせたらいいのかな？」と考えることに違いはありません。子どもの物を作る遊びは物作りの基本になっていると感じました。

２月　ビジブル

見ていて、あったかくなる光景✨

（こっちに）きたら、
（あしを）まげる！

むこういったら、
（あしを）のばす！

　はじめは、保育士が、ブランコに乗っているお友だちの背中を押していました。それを遠くで見ていた4歳児の男の子が、「するわ！」と駆け寄ってきてくれました。男の子は、背中を押しながら、上記のように声を掛けていました。自分でできるように、優しくアドバイスをしていました。その言葉を聞いて、乗っているお友だちは、伸ばしたり曲げたり、足を動かしていましたよ。とてもかわいい光景でした。そして、どっちもが嬉しそうでした。してあげている子、してもらっている子。こうやって、嬉しいことを共有して、よりよい人間関係を作っていってるんだと感じました。これからも、自分が嬉しくなる経験を、お友だちとたくさん共有していってもらいたいです。

2月ヴィジブル

持っている力を合わせれば…

お餅つきの次の日、子ども達が集まって臼と杵を作ろうと相談していました。段ボールやガムテープを組み合わせ、お餅つきで見たのと同じサイズにしようと考えていたようで、抑える人・テープを切る人・線を引く人など役割を分担しています。
その集団を近くで見ているＮちゃん。手には文房具が握られていて、一緒にやりたいようですが集団に入り込めない様子でした。保育士が声を掛けると、

Ｎはこういうの、上手に出来ないから…。

作品を上手に作るお友達に憧れの気持ちがあるＮちゃん。なるほど、と思いました。皆で作っているものだからこそ、失敗したくない気持ちもあったのでしょう。
でも、そこで諦めてしまってはもったいない。
「上手に出来なくても大丈夫。失敗したらやり直したらいいよ。」と伝えてみました。良いタイミングで杵作りチームのお友達から「誰か手伝って～」と声が挙がり、それをきっかけに遊びに入るＮちゃん。

硬い段ボールを一生懸命切ったり、杵の持ち手を作るために段ボールを踏んで潰したり、ガムテープを巻くために部品を抑えたりして、自分の役割を見つけたようです。また、餅をつくために「取り水」があったことを思い出し洗面器の中に水色の紙をたくさん切って水を表現していました。出来上がった作品をとても気に入って一番に杵を抱えて餅つきごっこを楽しむNちゃんでした。

集団生活の中では、みんなと一緒に行動することが求められる場面は多いです。でも、それはみんなと一緒に同じように出来なければいけないということではありません。
Ｎ ちゃんの働きはお友達と同じ内容ではないけれど、それがなければ立派なお餅つきセットは作れていません。
それぞれの出来る事を持ち寄って力を合わせて作った作品はとても素敵に感じられたと思います。

自分の出来る事や持っている力を合わせて素敵な物を作る経験をした子ども達が大人になった時、そのような社会を作る人になってほしいなと感じました。

２月ヴィジブル

何でだろう？不思議だな～

１月も寒い日が続きましたね。珍しく雪が降る日もちらほら。子ども達は大喜びでした。そんな雪が降ったある日、Ｔくんも雪を見て喜んでいました。すると、突然帽子を脱ぎ始めたのです！！

どうするのかな？と見ていると･･･

子どもならではの発想が
おもしろい！

帽子を虫取り網のようにして雪を取ろうとしていたのです！！
そして、「先生見て！！」と帽子の中を見せてくれました。しかし、見てみると…『あれ？？ない…？』と、不思議そうなＴくん。『なんでだろう？取ったはずなのに…』と、何度も繰り返す姿がありました。
「取れた！」でも、帽子の中の雪はすでに溶けてしまって『取ったはずの雪がない？？』『なんで？？』という表情をしていました。この日降っていたようなふわっとした軽い雪では、触れるとすぐに溶けてしまって取った雪を見せることはできなかったのです。すぐには溶けない位の大きめの雪と比べることができれば、また違った気づきがあったかもしれませんが、今回は『なんで？』『確かに取ったのにどこにいった？』という不思議をいっぱい感じたのではないでしょうか？
Ｔくんが感じたこの疑問、不思議さが『そういうことか…』という今後の学びに繋がる時がきっと来ることでしょう。子ども達はこんな『なんで？』『どうして？』の経験を積み重ねて、色々なことに気付き、学び、吸収していくのだろうなと改めて感じました。

２月　ヴィジブル